

令和8年度 つくばみらい市立伊奈東中学校

グランドデザイン



校訓

きまりよく 望み高く たくましく

○本県教育の目標

- ・ひとりひとりの能力を開発し
豊かな人間性をつちかう
- ・じょうぶな身体をつくりたくましい心を養う
- ・郷土を愛し 協力しあう心を育てる
- いばらき教育プラン(茨城県総合計画より)
『活力があり、県民が日本一幸せな県』
- Ⅲ 新しい人材育成
茨城の未来をつくる「人財」を育て、日本一子どもを産み育てやすい県を目指す
- 令和8年度学校教育指導方針
「すべての子どもの可能性を引き出す活力ある学校づくり」

<つくばみらい市学校教育目標>

- 個性と創造性に富み、確かな学力を身につけた“みらい”の子を育てる
- グローバルな視野をもち、郷土愛に満ちた“みらい”の子を育てる
- 心身ともに健康で、自他を大切にできる“みらい”の子を育てる
- 【学校教育における喫緊の課題】より
- ・学ぶ意欲の向上と確かな学力の保証
- ・豊かな人間性を育てるための心の教育
- ・不登校生徒一人一人に応じた支援
- ・地域とともにある学校づくりの推進
- ・部活動改革の推進

学校教育目標【「学びに向かう力」を蓄え、人間性豊かでたくましい生徒の育成】

本年度組織目標

【個々の魅力と能力を発揮し、人に好かれ、人を大切にできる生徒の育成】



<本年度の経営の重点> (※は評価指標)

①協働的で探究的な学びの実現

【研究主題】個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実を実現する
生徒の育成 ～主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善を通して～

- 研究主題に基づく授業改善
 - ・正解→最適解の時代へ ・学習課題の吟味 ・試行錯誤
 - ・振り返り ・「分かる、できる」実感のある授業 ・ICTの活用
 - ・メタ認知 ・思考の可視化(思考ツール) ・論理的思考力
 - ※分かりやすい授業 90%以上 ※体力テストA+B 50%以上
- 「自分の考えを豊かに表現する」ための単元設計
 - ※各単元におけるグループ活動場面の設定(教師) 100%
 - ※思考力・判断力・表現力の伸長 80%以上
- 各教科領域における「よりよい聴き手」「よりよい話し手」の育成
 - ・対話 ・アウトプット ・批判的思考(Critical Thinking)
 - ※話し手に体を向けて聴く 95%以上
 - ※友達の考えが役に立つ 90%以上
- 保護者や地域人材・外部人材の活用
 - ※年間15回以上実施

③自己実現力の伸長

- 「なりたい自分」を思い描き、実現に向けて努力できる生徒の育成
 - ※生徒のよさを意識し価値付ける指導(教師)100%
 - ※目標実現に向け努力することができる 80%以上
- 様々な個性をもつ生徒が安心して参加できる授業、活動
 - ※エバ-サルデザインを意識した取組(教師)90%以上
 - ※多様性を認め合うことができる 90%以上
- 困難に直面してストレスを感じても元のコンディションに戻れる心の回復力(レジリエンス)の育成
 - ※「自分もなかなかやるな」と思える 80%以上

①協働的で探究的な学び



②自己有用感 ↔ ③自己実現力

②自己有用感の育成

- 思いやりを基盤とした、「人間関係形成・社会形成能力」の育成
 - ※構成的グループエンカウターの計画的な実施 6回以上
 - ※友達を大切にしている 90%以上
 - ※気持ちを込めたあいさつ 85%以上
- 特別活動、部活動などにおける「活躍の場」の設定と支援
 - ・集団への貢献 ・「体験」の重要性
 - ・リーダー、及びリーダーを支える立場の価値
 - ※体育祭・秋陽祭の満足度 95%以上
 - ※委員会活動自己評価A 80%以上
 - ※部活動への積極的な取組(参加者)90%以上
- 小中一貫教育の推進
 - ・自分の活動や経験、考え方の価値に気付く
 - ※活動への肯定的評価(参加者)80%以上

「学校は、社会でよりよく生きるための準備をする場である」

～本校に関わる全ての人の幸せ(well-being)のために～

- 目指す生徒の姿 自己有用感をもち 「なりたい自分」に向けた努力ができる生徒
- 目指す教師の姿 自らの仕事に誇りをもち 支え合い協働できる教師
- (働き方改革の推進 ※各月の超過在校等時間80時間以内100%、60時間以内85%以上)
- 目指す学校の姿 教育活動が拓かれ、関わる人々が幸せ(well-being)になる学校

